

ず～むあっぷ ★

オホーツク

(興部町)

No.88

農林水産省
北海道農政事務所
北見地域拠点JA北オホーツクにアイスクリーム係長がいた！

北見市から北へ120kmほど向った所に位置する、酪農と漁業を中心とした町おこっぺ（興部）は、人口3,470人に対し牛は約12,000頭にもなる酪農王国です。その興部町で、旧おうむ農協と旧興部農協が合併して平成24年2月に誕生したJA北オホーツクに、なんと「アイスクリーム係長」がいました！

アイスクリーム係長はどのようなお仕事をされているのか、取材しました。



アイスクリーム係長
藤本 勉さん

アイスクリーム係長誕生秘話

おこっぺアイスは、生産者の女性が組織する旧興部農協女性部が「酪農の町おこっぺ」を広く知ってもらい、生乳の価値を高めるため作ったものが始まりでした。平成10年4月からはJAが意思とブランドを引き継ぎ、牛乳乳製品の消費拡大のため、新たに加工場と直売店を建設し販路を拡大させ、現在に至っています。

JA北オホーツク営農部営農企画課に所属する藤本さんは、4月からアイスクリーム係長としておこっぺアイスの製造から販売まで担当されており、製造工場に隣接している直売店では、4名のスタッフが、カップアイスのほか、特製ソフトクリームを販売しています。



直売店とスタッフのみなさん

おこっぺアイスのこだわり

おこっぺ産の生乳を100%使用した濃厚なアイスクリーム！

おこっぺで搾られる生乳は乳脂肪分が高く、濃い味とコクが自慢で、原料には特に乳質の優れたものを厳選して使用しており、朝搾られた新鮮な生乳を、その日のうちにアイスに製品化しています。また、安定剤・増粘剤などの余分な添加物は一切使用していないので、生乳の美味しさをそのまま楽しんでいただきたいとのことでした。

直売店には、北海道内外を問わず多くのファンが訪れるそうで、中にはスタッフにお土産を持って来られるリピーターの方もいらっしゃり、消費者との交流はとてもやりがいを感じる瞬間とのことでした。

また、興部町と雄武町の小中学校や高校の給食に年4回程度アイスクリームを無償提供し、大変喜ばれているそうです。



おこっぺアイス

酪農王国オホーツク興部から全国へ

係長の悩み事は、コロナ禍があけて以降、直売店の売上は順調に回復してきているものの、全国各地へのギフト商品がコロナ前の70%程に留まっている現状と、製造に係る経費や資材の高騰分を簡単には商品単価に反映できないとのことでした。

また、他の業務もある中で、なかなか営業活動に取り組めていない歯がゆさを感じておられるようでしたが、今後は、酪農王国 興部町のPRも含めて、可能な限り販売促進に努力したいとの力強い言葉をいただきました。

JA北オホーツクのホームページはこちら → <http://www.ja-kitaokhotsk.jp>

